



南関SSコンビが決める

奈良競輪開設70周年記念「春日賞争覇戦」は、2月11日〜14日の日程で開催される。今シリーズは郡司浩平、和田健太郎、佐藤慎太郎、清水裕友のSS班4名が参戦する超豪華メンバー。地元勢は三谷竜生、中井太祐、中井俊亮、元砂勇雪ら自力型がズラリとそろっていて、一丸となって強豪を迎え撃つ。20日から始まる今年のG1第1弾「全日本選抜」を占う意味でも目が離せない4日間だ。

郡司浩平、和田健太郎の南関SS班コンビが本線だ。昨年に新SS班となった郡司は、一段と飛躍を遂げた。競輪祭では①②①①①着とタイトルホルダーの仲間入りを果たしているし、G3でも玉野、取手、岐阜、熊本記念in久留



郡司浩平

米と4Vを達成。20年優秀選手賞に輝いた。今年の成績は1月立川記念⑨①②④着、同月松山記念②①①⑤着。優勝には手が届いていないものの、持ち味の攻撃的な自力勝負で危なげなく決勝に乗っている。今年初Vを飾り全日本選抜に弾みを付けた。昨年のグランプリチャンプ・和田も20年優秀選手賞を受賞している。昨年はビッグレースで4回決勝に乗っていて、1年間を通じて安定し

た成績を残した。タッグを組む郡司とは連係実績が豊富で、高松宮記念杯の東日本初日特選、共同通信社の最終日特秀、競輪祭の準決など、ビッグレースでもワンツ―を決めている。郡司の仕掛け次第では逆転も考えられる。

強力な南関コンビを撃破すれば清水裕友だろう。昨年は全日本選抜、サマーナイトとビッグレースで2Vを飾り、3年連続となるグランプリ出場を果たしている。今年には好調と言えるような脚勢ではないものの、1月立川記念、同月大宮記念の準決はともに快速まくりを決めて勝っていて、SS班の貫禄を示した。タイミングよく仕掛けられれば好勝負に持ち込める。

もう一人のSS班・佐藤慎太郎は、相変わらず安定プレーを演じている。1月大宮記念は伸び今ひとつの感はあったものの、⑤③②②着とまとめた。直近4カ月の3連対率は83%で素晴らしい数字だ。今シリーズは北日本勢の上位陣に自力型が手薄なので、位置取りが鍵になりそう。たとえスジの目標が不在でも、的確なコース



和田健太郎

清水裕友
選択と鋭い差し脚を発揮しての突っ込みには注意したい。



近畿勢も三谷竜生、村上博幸、稲毛健太と実力者がそろっている。当所記念では三谷は67周年、村上は68周年を制している。だが、三谷はなかなか調子が上がらず、昨年後期はF1戦でも決勝で連がらみがなかった。上積みがないと厳しいか。競輪祭で落車した村上は1月豊橋記念から復帰。準決では野原雅の逃げに乗り松浦悠らに勝っている。チャンスが巡ってくれば勝ち負けに持ち込んでもおかしくない。

四国勢も侮れない戦力だ。重鎮・小倉竜二をはじめ、原田研太郎、松本貴治と2枚の自力型を擁する。中でも松本は勢いがあり、1月松山記念決勝では島川将を利しての2段駆けながらも、松浦、郡司らSS班を撃破した。原田も1月広島①③着、同月岐阜①①②着など動きがいいし、小倉は1月四日市では貫禄の3連勝と差し脚好調。メンバー次第では中四国スジで清水との連係も考えられるだけに、四国勢の動向には注目しておきたい。

奈良記念 出場予定選手

※2021年2月1日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点					
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	118.11	S1	山田久徳	京都	93期	106.06	S2	渡邊健	愛知	76期	95.40	S2	吉松直人	高知	90期	97.53	S2	小原周祐	高知	99期	96.56
SS	和田健太郎	千葉	87期	118.56	S1	不破将登	岐阜	94期	107.88	S2	松尾淳	岐阜	77期	98.90	S2	原田礼	福岡	90期	94.53	S2	萱島大介	大分	99期	97.17
SS	郡司浩平	神奈川	99期	117.59	S1	松川高大	熊本	94期	107.82	S2	鈴木幸紀	三重	78期	95.92	S2	中村雅仁	熊本	90期	94.32	S2	太刀川一成	千葉	100期	98.16
SS	清水裕友	山口	105期	113.89	S1	山形一気	徳島	96期	102.05	S2	渡辺航平	福井	79期	92.38	S2	中村敏之輔	北海道	91期	99.59	S2	久島尚樹	宮崎	100期	99.39
S1	内藤宣彦	秋田	67期	106.04	S1	稲毛健太	和歌山	97期	108.37	S2	小林卓人	大阪	79期	92.17	S2	矢野昌彦	栃木	91期	97.27	S2	伊代野貴照	奈良	101期	101.93
S1	志智俊夫	岐阜	70期	110.64	S1	武藤龍生	埼玉	98期	107.67	S2	館泰守	愛知	80期	97.14	S2	稲吉悠大	福岡	92期	98.92	S2	中井俊亮	奈良	103期	106.87
S1	堤洋	徳島	75期	103.23	S1	原田研太郎	徳島	98期	108.70	S2	宮下貴之	埼玉	81期	90.82	S2	櫻山恭柄	福岡	92期	93.37	S2	元砂勇雪	奈良	103期	104.48
S1	小倉竜二	徳島	77期	114.52	S1	高久保雄介	京都	100期	102.90	S2	坂本晃輝	佐賀	81期	98.41	S2	関貴之	茨城	93期	96.57	S2	小川賢人	福岡	103期	100.36
S1	北野武史	石川	78期	104.32	S1	吉澤純平	茨城	101期	109.39	S2	近藤範昌	岡山	82期	92.70	S2	成松春樹	佐賀	93期	102.38	S2	水谷将司	愛知	105期	88.17
S1	濱田浩司	愛媛	81期	105.62	S1	三谷竜生	奈良	101期	107.58	S2	肥後尚己	大阪	83期	93.53	S2	古川貴之	佐賀	93期	92.48	S2	大石崇弘	東京	107期	94.14
S1	大塚健一郎	大分	82期	107.53	S1	谷口遼平	三重	103期	105.43	S2	大野悟郎	大分	83期	95.22	S2	桶谷明誉	広島	94期	94.70	S2	大石剣士	静岡	109期	106.28
S1	吉田敏洋	愛知	85期	110.63	S1	竹内翼	広島	109期	103.38	S2	川口直人	神奈川	84期	99.97	S2	相笠翔太	福島	96期	91.61	S2	奥出良	石川	109期	91.07
S1	筒井敦史	岡山	85期	105.96	S1	松本貴治	愛媛	111期	109.40	S2	岡本英之	千葉	85期	101.94	S2	磯田旭	栃木	96期	97.09	S2	大和航平	和歌山	109期	89.89
S1	村上博幸	京都	86期	112.45	S2	中澤央治	大阪	59期	96.44	S2	竹内公亮	岐阜	86期	86.00	S2	山下一輝	山口	96期	107.50	S2	嶋田誠也	福岡	109期	97.06
S1	井上昌己	長崎	86期	108.73	S2	三住博昭	神奈川	61期	96.48	S2	原真司	岐阜	86期	103.00	S2	久木原洋	埼玉	97期	99.75	S2	落澤鴻太郎	群馬	111期	105.30
S1	中村圭志	熊本	86期	104.30	S2	石田洋秀	広島	64期	93.52	S2	溪飛雄馬	愛媛	86期	96.48	S2	中井太祐	奈良	97期	105.60	S2	能代谷元	神奈川	111期	92.33
S1	田中誠	福岡	89期	106.53	S2	室井竜二	徳島	65期	100.58	S2	上吹越直樹	鹿児島	86期	97.33	S2	工藤文彦	岡山	97期	97.58	S2	小原文一郎	青森	115期	98.48
S1	松岡貴久	熊本	90期	107.95	S2	星島太	岡山	66期	91.16	S2	大森慶一	北海道	88期	108.59	S2	高市訓但	愛媛	97期	93.77	S2	城戸俊潔	岡山	115期	93.61
S1	宿口陽一	埼玉	91期	109.60	S2	阪本正和	長崎	70期	98.55	S2	坂口卓士	福島	88期	89.33	S2	松田大	富山	98期	96.17	S2				
S1	鷲田幸司	福井	92期	102.08	S2	伊藤正樹	愛知	71期	97.81	S2	佐藤朋也	秋田	89期	98.41	S2	増原正人	広島	98期	95.69	S2				
S1	三谷将太	奈良	92期	99.71	S2	四宮哲郎	京都	71期	88.00	S2	伊藤大彦	徳島	89期	95.64	S2	東矢昇太	熊本	98期	99.54	S2				
S1	三谷政史	奈良	93期	102.24	S2	中井達郎	静岡	74期	95.03	S2	山中貴雄	高知	90期	107.65	S2	花田将司	千葉	99期	93.20	S2				